

## 第3回三田市行政改革推進会議の意見反映について

### 1 方針の位置づけ、概要等

(1) 総合計画No.25の③～⑥は、方針Ⅰ～Ⅳに対応するが、①および②については反映されていない。②については、趣旨や位置づけにおいて加筆するとともに、①については、次回以降、反映の仕方について再度検討する。

#### <対応>

②については、第3回・第4回の推進会議の議論を踏まえて、方針（案）の全体構成の整理を行う中で趣旨や位置づけにおいて加筆していくこととする。

また、①については、方針（案）に項目Ⅴを追加することとして、事務局案をお示しする。

### 2 市役所のスマート化について

(1) 国際化、多言語への対応について、可能であれば言及されたい。

#### <対応>

現在、多言語翻訳アプリ搭載タブレットを本庁舎総合案内窓口や市民課、保育振興課窓口等に配置しているが、今後、多言語へどのように対応していくのかについては、アクションプラン作成の中で検討していくこととする。

(2) デジタル化に伴ってセキュリティの確保も重要となるので、前文の第2段落「セキュリティの確保のもと利便性の～」というように加筆されたい。

#### <対応>

方針Ⅰの冒頭部分第2段落に「セキュリティ確保のもとで利便性の向上が図れるよう」を加筆することにより対応する。

(3) オープンデータの充実により協働を促進することで、住民自治を含めたスマート化を進めるということには言及できないか。全体のトーンから次回以降判断する。

<対応>

住民自治への提案を本方針で言及することは難しい面があるものの、オープンデータを住民も利活用し、協働で地域課題の解決に繋げていくことは重要であることから、推進項目④に挙げる取り組みをアクションプランで具体化する中で言及することを検討する。

(4) おくやみコーナーや福祉コンシェルジュのようなワンストップサービスの提供も非デジタルではあるが市役所のスマート化に含まれると思うので、そのあたりの反映をしてもらいたい。

<対応>

方針Ⅰの前文の第2段落の最後に「あわせて市民にとって安心して便利な市役所窓口のワンストップサービスなどに引き続き取り組みます。」という表現を追記するとともに、今後、デジタル技術の活用も視野に取り組みを進めることとする。

(5) 推進項目①のタイトルを「利便性の高い行政サービスを提供するデジタル化の推進」として、4項目でそれを網羅できるような表現にするとともに、全ての世代が使いやすいスマート化であることがわかるような表現にしたほうが良い。

<対応>

方針Ⅰの前文の第2段落「デジタルデバイドの解消」の前に、「すべての世代の市民が、その利便性を享受できるよう」という表現を追記するとともに、アクションプラン等で具体化する際には、市民が安心してできるように表現を工夫するなど、市民に抵抗感を持たれないように留意しながら取り組むこととする。

(6) 全体的に市民に抵抗感を持たれないような表現にしたほうが良い。スマート化、デジタル化という単語にアレルギーがある人が少なからずいるため、その層に、安心・迷わない・スムーズといったイメージを与えられるような取り組みが重要。

前文で言及するだけで良いのか、もしくは具体的な推進項目として掲げ、アクションプランに反映していくのか、検討してもらいたい。

<対応>

方針Ⅰの前文の第2段落「デジタルデバイドの解消」の前に、「すべての世代の市民が、その利便性を享受できるよう」という表現を追記するとともに、アクションプラン等で具体化する際には、市民が安心できるように表現を工夫するなど、市民に抵抗感を持たれないように留意しながら取り組むこととする。

(7) 書類の電子化については、システムトラブル等のリスクについても考えておかなければならない。

前文で反映できるかどうか、検討してもらいたい。

<対応>

リスク対応については、アクションプランを作成する際に具体的な記載について検討することとする。

### 3 市民ニーズを捉えた公共施設の最適化

(1) 施設の集約化はわかるが、災害時の拠点機能は重要であることから、そういう視点も忘れず、市民とのコンセンサスを得ながら推進して頂きたい。

また、表現についても工夫してほしい。

(例えば、複合化による拠点化など)

#### <対応>

前文の第3段落に「施設が有する機能や役割、さらには重要性や代替可能性を勘案したうえで、」という文言を加筆し、災害時の拠点機能等を踏まえて施設の集約化等を進めるといった視点を盛り込むこととする。

(2) 縮小のみならず、得られた効果を新たな投資につなげるという記述がほぼ見られないので、そこが伝わるような文章にしてほしい。

#### <対応>

【主な推進項目】の④に「～縮減を図ることにより、限られた財源を有効に活用するとともに、新たな投資にもつなげていきます。」という文言を加筆する。

(3) 説明文書が縮小、合理化といった市民にとってマイナスイメージが強いので、未来に向かっての明るい要素を入れられないか。

#### <対応>

前文の第4段落に「未来につながる持続可能な公共サービスの提供に向けて、」という文言を加筆するとともに、【主な推進項目】の①に「時代のニーズを的確に捉えた施設の展開」、【主な推進項目】の②に「民間事業者の優れたアイデアとノウハウを活かした」をそれぞれ加筆することにより、未来に向かって明るい要素を表現することとする。

(4) 主な推進項目④について、LCCの削減を図ることにより、具体的にどうするのか前向きな目標を書くべき。(例えば、新たな投資の余地を産み出す、など)

<対応>

【主な推進項目】の④に「～削減を図ることにより、限られた財源を有効に活用するとともに、新たな投資にもつなげていきます。」という文言を加筆する。